



第64号

しながわ



社会福祉法人 佳松会

〒583-0993

大阪府南河内郡太子町大字畑100-1

☎ 0721-98-5000 FAX 0721-98-5678

発行責任者 中山 崇

令和3年8月1日発行

創立25周年記念



創立記念を祝う会

さわやかな好天が期待される3月28日。利用者の皆さんは、創立を祝う会でお父さん、お母さんと久しぶりに会えることを楽しみにされていました。当日はあいにくの雨となり、急遽、室内での式に変更しました。「密」を避けるため保護者の参加はなくなり、皆さんとても残念がっておられました。

久寿玉割の後、支援員による全力の吉本風新喜劇に、利用者の皆さんも拍手喝采で、本家に負けないほどの笑いが起こり、大いに盛り上がりました。

最後のおやつタイムは、上用饅頭と昆布茶が用意され、初体験の方もおられ笑顔で口にされていました。

グループホーム しながの舎バーベキュー会

5月29日(肉の日)待ちに待ったバーベキュー会の開催となりました。ホームの皆さんで設営、火起こしを行い、準備万端。コロナ禍である為、消毒や席の配置など十分に対策を行いました。肉や野菜はもちろん、焼きおにぎりや海鮮などホームの皆さんがリクエストしたメニューも用意し、みんなの表情からはとても楽しんでいる様子が伺えました。

食事後はレクリエーションのクイズ大会を実施し、大変盛り上がりました。日頃の自粛モードでのストレス解消となる一日でした。

5月29日



お楽しみ支援

コロナ禍により外出も中々できず、利用者の皆さんもつらい思いをされていることと思います。そんな中利用者の皆さんに希望を聞いたところ、ハンバーガーやお寿司などの好きな食事をテイクアウト(購入)して施設で食べたいとの声があり、支援員のアイデアで畑ホールの一 corner をバーガーショップと寿司店に変身させ、楽しい雰囲気でお楽しみ昼食会を開始しました。事前にメニューを決めて、当日職員と車でお店に出かけ、お目当てのメニューを選んでいる時の皆さんはとても真剣に悩んでおられる表情でした。

5月から小グループに分かれてスタートしており、参加した利用者さんからは「楽しかった」



「めちゃ美味しかった」と喜びの声を多く聞くことができました。

まだまだ気の抜けない日々は続きますが、少しでも利用者の皆さんに楽しい時間を提供できればと思います。



保護者の皆様へ感謝のメッセージ

5月9日 母の日

沢山のありがたい言葉を集めて、大きなパネルを作りました。

力のこもった文字に心をこめました。

ありがとう！！

6月20日 父の日



「ありがとう」



「いつも感謝しています」

生活支援班 41名

生活支援班は、41名と多人数で、3密にならないように意識して色々な事に取り組んでいます。

「職員で作った」や「利用者が作った」ではなく、「力を合わせて一緒に作った」と言えるように取り組み、笑顔が絶えず、活気に溢れる時間を過ごし、利用者の方が参加したいと思えるような班にしたいと思います。



農園芸班 7名

グラウンドの畑面積が随分と広がっており、夏野菜も元気よく育っています。また、新しい鶏舎でのびのび育っている鶏たちも卵を沢山産んでくれています。

コロナ禍にあり、野菜や卵の外部の方々への販売が減少し、ほとんどを“科長の郷”の厨房に納品するいわゆる地産地消状態ですが、毎日の食事でそれらを食べる事が出来るのは良い機会と感じます。

「あのサニーレタス、綺麗だし美味しかったよ」と職員に声を掛けられ、照れた様に笑う利用者さんの表情が印象的です。早く販売を再開し、沢山の方に食べて貰いたいです。



室内作業班 7名

新たに1名の利用者さんが加わり、新生“室内作業班”がスタートしました！

今年の班の目標は、

昨年度より1円でも多く売上を上げ、所属する皆の工賃が増えることです。



目標に向かって、段取り不足で受注作業や空き缶潰し等がストップしない様、また利用者さんの頑張りに負けないよう、職員も利用者さんと共に日々取り組んでいます。

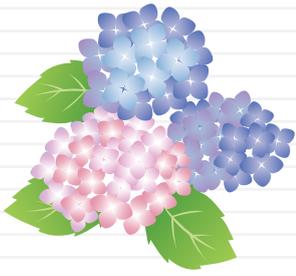


★ご自宅で使用後のアルミ缶。有益な作業として活用できますので、是非来郷の際にはお持ち頂けたら幸いです★

医務だより

新型コロナウイルス感染症の発生から1年が過ぎました。いまだに感染拡大が収まらない状態が続いています。利用者の皆さんにはストレス発散が十分できない状態が続く中で、太子町や囑託医の先生の御支援により6月下旬からワクチン接種が始まり、7月中には希望する利用者・職員の接種は完了する予定です。

ワクチン接種の効果を利用者の皆さんに行き届き、安心して生活ができるようになるまでは引き続き施設内での感染予防に努めると同時に利用者の皆さんの健康チェックを日々行っていく予定です。



部長からの一言

去年一年間は「コロナ」「自粛」「不要不急」という言葉をたくさん耳にしてきました。テレビや新聞などの情報も、ネガティブな話ばかりに目が行きがちになる自分を振り返り、習慣とは自分の考え方次第だと実感しています。

福祉に携わる者として、耳にする言葉の中に「リフレミング」というものがあります。

ある投稿

なぜかスマホの電池の減りが速い。何とか遅くならないかというところを触っていたらインターネットが繋がらなくなりました。しかし回復

この一年は色々なことをリフレミングして、今しか出来ないことを探し、前向きに進んでいけることを習慣にしようと思う今日この頃です。

の仕方がわからない。このままでは好調タイガースの戦況が見られないと携帯ショップへ向かった。

ところが、途中三差路を左折して本線に入り50分程進んだところで制服を着た若い人から手招きされ停止を命じられた。「一旦停止違反です。」と。「いや、停止した。証拠はある。カメラで確認できる。」と主張するが制服人は「確かに一旦停止はした。しかし停止線を過ぎて横断歩道にかかった所で停止したので違反となる。」と。「三差路の右側には欄干があつて見通しが悪いので、交差点に入る前に減速し横断歩道に入るところで安全確認した。」と説明するが「停止線を越えたんでしょ。」と。結局「指定場所一時不停止」との理由で切符が切られ7千円の納付を命ぜられた。勿論、7千円の納付も痛い。それが数年以上

編集後記

7月末から東京オリンピック・パラリンピックが開幕しましたね。利用者の皆さんと、テレビ越しに応援しています。アスリートのプレー一つひとつに勇気と元気をもらい、これからもコロナに負けず元気な姿で頑張っていきたいと思っています。

広報担当 小野

社会福祉法人 **佳松会**
かしょうかい
 しながさと
 科長の郷
 障害者支援施設（生活介護）
 短期入所事業・日中一時支援事業
 しながの舎
 共同生活援助（グループホーム）

QRコードから
 ホームページへ
 アクセス



生活支援相談室しなが
 基幹相談支援・計画相談支援
 地域相談支援（地域移行・地域定着）・障害児相談支援

篤志御礼 3月～6月（敬称略・順不同）

寄贈物品

科長の郷保護者会 コンフィア 増井郷士
 牧悦子 奥田歯科医院 桃花塾 荻野有希
 西田友子 寺尾卓之 関本幸男 翠田収
 西川浅香 樽井修二 葛井貴美 土井浩治
 増田清 鳥羽由紀子 濱田美代子

寄付金

科長の郷保護者会 富田晶子 上田美代子
 猪倉厚 増田清 古藤捷二 中川保彦 中山崇
 田中成彦 望田昭博 近畿環境サービス